

メディアにおける「創作物の性表現」と 「現実の性被害」との関係性 ～児童買春・児童ポルノ禁止法改正案をめぐって

慶應義塾大学SFC研究所 上席所員（訪問）
渡辺 真由子

発表の流れ

1. 児童買春・児童ポルノ禁止法改正案と創作物
2. 創作物の性表現と現実の被害事例
 - (1) 創作物による実在児童の権利侵害
 - (2) 性犯罪における創作物の利用
3. 性表現の影響に関する研究
 - (1) 実写版ポルノグラフィーの影響研究
 - (2) 創作物の性表現の影響研究
 - (3) 性表現の影響研究の限界
4. 性表現規制の今後の方向性

1. 児童買春・児童ポルノ禁止法改正案と創作物

- 「児童買春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律」
 - 2013年の通常国会で、自民党と公明党、日本維新の会が改正案（衆法第183回国会22号）を共同提出
 - 第185回臨時国会で継続審議中（2013年11月現在）

*改正案と議論点：

漫画やアニメ、CG等の「創作物」と性犯罪の関連性を

調査研究するよう政府に要求

→実在しない人間を描く創作物を、規制対象とする必要があるのか？

2. 創作物の性表現と現実の被害事例

(1) 創作物による実在児童の権利侵害

- 実在児童の被害体験が創作物に「変換」されたケース：
 - 「女兒愛好団」41人を、小学生を含む少女たちへの強姦、強制わいせつ、児童ポルノの製造、提供などの容疑で摘発（2006－2007）
 - メンバーは、自分が女兒を襲った際の映像を漫画家に提供
→漫画のネタ元に
- ⇒漫画の背後に、実在児童に対する権利侵害が存在
- 実写版とは異なり、製造された過程を問われない
 - 実在児童の性被害と結び付いていたとしても、発覚しづらい怖れ

2. 創作物の性表現と現実の被害事例

(2) 性犯罪における創作物の利用

- 2004奈良 小1女兒誘拐殺害事件
 - 「ロリコンポルノアニメを見て真似したくなった」
- 2005年青森 少女らを監禁、性的虐待を加えた疑いで男逮捕
 - 「調教もの」アダルトゲームに熱中し、監禁相手に同様の行為
- 2008東京 同じマンションに住む女性への殺人や死体損壊、
わいせつ目的略取の罪で男を起訴
 - アダルトゲームやアニメ等を好み「現実の女性もそういうものだ
とっていた」／同人誌も制作（手足切断女性に性的暴行等）
- 2011熊本 3歳女兒への殺人と強制わいせつ致死などの疑いで
元大学生の男を起訴
 - 部屋からは、少女の裸などを描いたポルノ漫画が多数
- 2012広島 小6 女兒を旅行かばんに押し込み連れ去ったとして
大学生の男を逮捕、わいせつ目的略取と監禁などの罪で起訴
 - 「少女をかばんに入れる場面がある漫画を参考にした」

3. 性表現の影響に関する研究

(1) 実写版ポルノグラフィの影響研究

暴力的ポルノの影響に関する実証研究

- 暴力的ポルノを見ると、
女性に対する攻撃が顕著に増加 (Donnerstein, 1980; Donnerstein&Berjiwutz, 1981)
— 「非暴力的」であれば影響は見られない
- [特に問題となる描写]
女性が性暴力に快反応を示す内容
— 男性被験者に怒りがなくても影響 ≠ 一般的観察学習
 - 「強姦神話」の流布
 - 性暴力を肯定する価値観の植え付け
 - 性犯罪の発生を促す恐れ (坂元、2005)

3-1 実写版ポルノグラフィーの影響研究 暴力的ポルノグラフィ研究のメタ分析

【対象】 1962～95年に英語圏で行なわれた46の実証研究
(Paolucci, et al., 2000)

- 結果：ポルノにさらされると.....
 - 「逸脱的な性行動を取る傾向」、「性犯罪の遂行」、
「強姦神話の受容」、「親密関係に困難をきたす経験」
が各2～3割程度増大
 - 「カタルシス効果」－ほぼ支持されず
 - Paolucci, et al. : 「ポルノグラフィの影響に関する諸々の研究結果が示していることは、『ポルノが暴力や家族機能に影響を及ぼすか否か』という論点を超えて、『その次の段階』に議論を進めるべきだ、ということである」

3. 性表現の影響に関する研究

(2) 創作物の性表現の影響研究

- **ポルノコミックに関する調査** (中高生男女対象、総務庁、1993)
 - ポルノコミックに接している者
 - －女性の性役割に対する性差別、買・売春を許容、
男女の交際を性的交渉目的に限定する傾向
 - 「ポルノコミックは性の情報源」－全体の半数
 - 「ポルノコミックに刺激されて性的なことをしがち」－男高生33%
- **ゲームに関する調査**
 - ポルノ・ゲームや残酷なゲームへの接触
 - －痴漢や覗き、強姦、売春行為への罪悪感が低下
(中学生男女対象、総務庁、1994)
 - 「恋愛シミュレーション・ゲーム」をプレイした男性
 - －「ゲームの登場人物が実際にいる気がする」
「現実の異性に興味を失う」等の傾向 (沖・林、1999)

3. 性表現の影響に関する研究

(2) 創作物の性表現の影響研究

- 創作物を含む性的メディア（グラビア雑誌、AV、裸や性交描写のあるゲーム、ポルノコミック、ネットのアダルトサイト等）に関する調査（大学生対象、佐々木、2004）

[性的メディアへの接触経験と性意識との関係]

- 性的メディアに接する頻度が多い
 - 「罰せられなければ、相手の同意がなくても性交をする」という性暴力行動への是認度は高い

- 性的メディアに多く接すると歪んだ性情報や性行動を現実のものとして受け入れ、半ば性暴力的な態度が形成される可能性（佐々木）

3-2 創作物の性表現の影響研究 ゲーム効果研究をめぐる論争

- Anderson et al. (2007) : ゲームがプレイヤーに暴力行為を観察・練習する機会を与え、そうした行為を反復させたり、報酬を与えたり、現実に近い生々しさを感じさせたりすることを通して、観察・練習効果を強化
- 米連邦最高裁判決 (2011年6月) : カリフォルニア州が制定した、暴力的なビデオ・ゲームの子ども向け販売規制法に対して
一州が規制根拠としたAnderson et al. の研究結果について「あくまで相関関係であり、暴力ゲームが未成年者の攻撃的行動を引き起こすと証明したわけではない」とし、規制法を違憲判断

⇒その後：暴力的なビデオ・ゲームに関しては、流血描写のリアルさがプレイヤーの攻撃性に影響を与えるとする研究 (Jeong et al., 2012) や、プレイヤーに敵意を抱かせることが攻撃性を増大させるとする研究 (Hasan et al., 2012) など、新たな知見が活発

3-2 創作物の性表現の影響研究 ネット表現物を与える影響

- 性的に露骨なネット表現物 (Sexually Explicit Internet Material = SEIM)
- SEIMにより多く接する若者
 - 性的な事柄に没頭する傾向が強くなったり、性別役割分担への考え方が保守的になったり、性的な欲求不満に陥ったり、口唇もしくは性器結合による性交の開始時期が早まったりする (Brown & L' Engle, 2009; Peter & Valkenburg, 2008)
 - SEIMの内容が「現実社会における性行為を反映している」、「性交の情報源として役立ち、現実の性行為に適用可能である」と認識
 - これらの認識が強いほど、性交を「愛情関係を深めるためよりも肉体的な快楽を得るために行なう、カジュアルなゲーム」と考えていた
(オランダの13歳から20歳の若者対象、Peter & Valkenburg, 2010)
- 性的表現物をめぐる従来の知見：「見る者はそれを単なるファンタジーと受け止め、現実との区別はきちんと出来ているので、現実生活には何ら影響を与えない」 (Linz & Malamuth, 1993)
⇒本研究は否定

ネット児童ポルノの影響に関する実証研究

[米連邦刑務局による調査]

- ネット上での児童ポルノの所持・受領・配布で逮捕された受刑者の85% — 実在する子どもへの性犯罪加害経験有

→ 「『児童ポルノ所有者』を『児童への性犯罪者』と分けて考えることは、現実的か？」

(Bourke & Hernandez, 2009)

- ネット上で児童ポルノにさらされると.....
 - 児童を性的対象と見なす
 - 児童をモノ化する
 - 被害者の苦しみへの想像力がマヒ（脱感作）する

3. 性表現の影響に関する研究

(3) 性表現の影響研究の限界

- 鶏が先か、卵が先か？
 - 「選択的接触理論」 — 攻撃的な人が、暴力的なメディアを好む
 - 「墮落のらせんモデル」
もともと攻撃的→暴力的なメディアを好んで視聴→更に攻撃的
(Slater et al., 2003)
- 性的攻撃性に関わる要因
 - 直接要因 — 性的な被害経験 (Seto and Lalumiere, 2010)
 - 間接要因 — ケンカ、いじめ、飲酒、ドラッグ使用、怒り等
 - 防止要因 — 「大人との感情的つながり」 (Ybarra et al., 2011)
- 媒体による違い
 - 映像、ネット動画、雑誌共に、性的な攻撃行動を増加させる
— 映像・ネット動画 > 雑誌 (Ybarra et al., 2011)

4. 性表現規制の今後の方向性

- 児童買春・児童ポルノ禁止法
 - － 創作物であることを理由に、
 - － 一律に規制対象から外すことは現実的か？
- 社会科学的知見にみる対策のポイント：
 - － 「性暴力」の描写
 - － 被害女性の快反応
- 「実在成人」の性表現物規制に関する
検討の必要性